

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	新しい理念を構築し、事務所やリビング等の目のつく場所に掲示し、意識付けをしており、理念に沿って笑顔と地域の繋がりを大切にしています。	職員にアンケートを行い、新たな理念を検討し作成しました。ユニットの玄関、リビング、台所などに理念を掲示しているほか、毎朝の朝礼時に唱和する機会もあり、理念を意識したケアを心がけています。	職員により、理念の浸透ができるように定期的に理念を確認する機会を設けられることを期待します。
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の理髪店を利用したり、地域での行事参加をし、交流が盛んになるよう努めております。	地域の芸能歌謡祭や敬老会にご利用者と一緒に出かけたり、町内の祭りに参加したり、高校生の合唱ボランティアにも来て頂くなどして、地域との交流を行っています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	メディアにより認知症への理解は浸透してきていますが、施設としては支援方法等を地域の人々に向けているような貢献は行ってない為、今後の課題となります。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者様の状態や支援方法等の報告を行い、ご家族様や他施設職員・地域包括職員等の意見を聞き、サービスの向上に努めています。	2ヶ月に1回、ご家族代表、包括支援センター職員、区長、役場職員などに参加してもらい、ホームの運営状況を報告し、意見交換を行っています。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2か月に1回の運営推進会議では、町の担当者・地域包括職員にも参加して頂いており、情報交換を行っております。又、施設として町に行きたくい事などの依頼も行っています。	町の担当者と包括支援センター職員には、2ヶ月に1度運営推進会議に参加していただいているほか、入退居の情報の報告や不明な点の確認など連絡をとっています。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が拘束をしないケアを行っています。帰宅要求の強いご利用者様も入居されていますが、玄関を施錠する事なく個別対応を行っています。	身体拘束を行わない方針のもと、玄関の施錠は夜間のみとしており、身体拘束の無いケアがなされています。	身体拘束に関する理解を深める為にも、身体拘束に関する研修を定期的に行われることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(5-2)	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的虐待だけではなく、言葉による虐待もあると言う事をしっかりと学べるよう、講習会出席者には園内研修として、伝達講習を行ってまいります。	虐待については外部研修参加者による伝達講習が前年度は行われていましたが、今年度は研修の機会がありませんでした。	虐待防止に関する理解を深める為にも、虐待防止に関する研修を定期的開催されることを期待します。
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は講習会に参加できる機会が少なく、伝達できていません。今後は、外部・内部研修にて活用できるように取り組んでいきたいと思ひます。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者様やご家族様が納得して頂けるよう、十分な説明を行いながら手続きをして頂いています。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や要望は面会時等にお聞きし、その都度十分に検討し、運営に反映させています。	面会時のご家族とのやりとりのほか、管理者が定期的に連絡をとり、意見の確認を行っています。また、法人の祭りにはご家族にも声を掛け参加して頂けるように取り組む等、意見を言しやすい関係作りを行っています。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務の合間や職員会議の場など、その都度意見を聞き反映させています。	日々の業務でのやりとりや毎月の職員会議にて職員の意見を聞く機会を設けているほか、半年に1度は個人面談も実施するなど、職員の意見を確認し、反映できるようにしています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	セルフチェック及び直属上司によるチェックシートを行い、それに伴い、年2回面談を行っています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	随時の外部研修への参加、月1回の内部研修又、各職員と個別で話す機会を設け、能力の向上に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流会・勉強会への参加や外部との交換研修を取り入れ、サービスの質の向上に努めています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用様とのコミュニケーションを大切にし、安心した生活が送れるよう努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の思いや要望を十分にお聞きし、サービスに繋げています。又、面会時などに声をお掛けし、ご利用者様の状態報告を行ったり、日々の日常会話をし、話しやすい雰囲気作りに努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様・ご家族様、それぞれの意見をお聞きし、その中でも「その時」必要としている支援を見極め、様々な手段や方法を提案し、選択できるよう努めています。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	喜怒哀楽を共にし、ご利用者様・職員が共に支えあえる関係を築けるよう努めています。		
19	(7-2)	本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支えられる一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何か困った事があれば、ご家族様と相談し、今後についての対応を一緒に考えるよう心掛けています。	事業所での活動を知っていただくため、2ヶ月に1度は担当者がコメントを添えた個別のお手紙、3ヶ月に1度事業所広報をご家族にお送りしています。ご家族の面会時や管理者が連絡した際にご利用者の情報を共有し、ご利用者をともに支えていく関係づくりをしています。	
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の行事やスーパーへの買い物などに行き、他者と交流ができる場を確保しています。	ご家族の協力を得て、行きつけの美容室への利用支援、買い物支援、温泉旅行やお墓参りなどを行い、これまでの関係が途切れないように支援しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	イベントや日々の作業など共同して行える事や、楽しみを持ち共にふれあい、共に楽しめるよう努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設への入所の際は、他施設に面会に行ったり、他施設に情報提供を行ったりしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所前の生活情報を細かく収集し、入所後もご本人様の思いや希望を重視しています。ホームの生活の中で困難な場合は、本人本位でカンファレンスを行い、ご家族様の了承やご協力を得ています。	面会に来ていただいた際にご家族の要望も確認しているほか、日々のご利用者とのやりとりの中で思いや意向の把握をし、ケース記録に記入し、カンファレンスで職員間で共有し、支援できるようにしています。	
24	(9-2)	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の様子・生活歴をご本人様やご家族様、又、以前の担当ケアマネージャーから情報提供をして頂いています。	入居前のご本人・ご家族からの聞き取りや、センター方式の書式をご家族に送付し情報を記入していただいています。以前の担当ケアマネージャーからも情報提供を受け、これまでの暮らし方や生活環境、サービス利用経過を把握しています。	調査時点でアセスメントが作成されていないご利用者や、情報の更新がされていないご利用者もいましたので、早期に対応されることを期待します。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活記録や状態を記録したケースをもとに申し送りを行い、職員一人一人が状態を把握できるよう努めています。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回の職員会議の中でカンファレンスを行う他、必要に応じ居室担当者が中心となりカンファレンスを行い、介護計画に繋げています。	月1回の職員会議の中でカンファレンスを行い、ご本人の思いやご家族、職員から集めた情報をもとに、3ヶ月1度モニタリングも実施し、定期的に介護計画を見直しています。	調査時点の記録を確認したところ、ケアプランの更新がされていないご利用者や、モニタリングが期間通りに行われていないご利用者もありましたので、早期に対応されることを期待します。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は職員が随時記入しファイルに保管しており、職員各自がチェックを行い、情報共有を行っております。新たな情報等ケアの幅が広がり、介護計画の見直しに活かしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様の意向、ご家族様の状況を考慮して、当事業所の規模・組織で可能な支援に関しては柔軟に対応しています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアを受け入れたり、自治会に加入し交流を持ったり、近隣の理髪店等地元の業者を利用しています。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者様・ご家族様の希望する医師での受診を基本としています。かかりつけ医には常に詳しい情報提供を行い、適切な処置を受けたり、指示を仰げる関係が構築されています。	ご利用者・ご家族の希望する医師での受診を基本としており、定期受診もホーム職員が行なうなど、必要や緊急性に応じて受診支援ができる体制になっています。また、経過連絡表もホームで作成し、必要な情報を医師へ提供しています。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職とは常時連絡の取れる体制が構築されています。夜間・休日でも相談等できるようになっており、ご利用者様は適切な受診ができるよう支援しています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は病院の関係者との情報交換・相談を密に行っています。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ケアマネジャー・医療機関・他施設等と連携を取りながら、ご本人様・ご家族様とも話し合いの場を持ち、ご利用者様に合った施設等の支援を行っています。	重度化した場合に対する指針が文書化されており、契約時にご家族へ説明し同意を得ています。必要に応じて話し合いの場を持ち、ご利用者に合わせた支援ができるよう努めています。	
34	(12-2)	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に全職員が救命救急講習を受講している他、看護師中心に勉強会も随時行っています。	全職員が消防署での心肺蘇生訓練、AEDの講習を受けており、看護師も配置され、急変時の対応マニュアルも整備されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時のマニュアル(避難方法・避難場所・緊急連絡網)を作成しており、マニュアルに基いた訓練を定期的に行っています。	避難訓練は年に2回定期的に行っており、災害時の緊急連絡網も整備されています。前回の課題であった非常用食品の確保もできていました。	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様一人ひとりの身体状況・性格・歩んでこられた人生を尊重し、声かけを行っています。	職員の声かけや態度は、ご利用者の誇りやプライバシーに配慮するようにしています。契約の際に個人情報の取り扱いについて確認をしており、法人としての情報保護規定も明文化されており、職員にも周知されています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様一人ひとりの状態に合わせた選択肢を作り、希望に沿えるように支援しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のご利用者様の状況を見ながら、お茶・食事・入浴等の時間の調整を行っています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節や気温に合ったその人らしい身だしなみの支援を行い、整髪等にも気を配っています。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様の身体状況・その日の様子を見ながら、食事の準備・片付け等を行っています。	ご利用者が野菜の皮むきや食器拭きなど食事の作業に参加できるように支援しています。ホームの畑でさつまいもやなす、ピーマンなどをつくり収穫をご利用者と一緒に楽しんだり、誕生日にはケーキ作りの機会も設けるなどして食事を楽しんでもらっています。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の健康管理やご利用者様の食べる量に合わせ、盛付けや水分量の調整を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声かけを行っています。出来ないご利用者様に関しては、職員が義歯を洗浄しています。		
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご利用者様が立席された際や排泄間隔が長い時、食事の前後に声掛けを行い、トイレ誘導を行っています。又、排泄感覚の無いご利用者様に対しては、定期的なトイレ誘導を行っています。	記録を活用し個々のご利用者の排泄のリズムなどを把握し、自立できるよう支援しています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の時には水分を多く摂って頂いたり、トイレ時に腹部マッサージを行ったりし、ご利用者様の状態に合わせた運動を取り入れるようにし、コントロールを行っています。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日に関わらず、希望のご利用者様が居る際は、入浴して頂けるよう支援しています。	午前・午後ともご本人の希望に合わせて入浴支援を行っています。しかし、調査時点では入浴支援に関する記録に不備があるところがありました。	予定通りに入浴支援ができなかった際の記録も、個々のケース記録に記入するように検討されることを期待します。
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣や状況に応じ休息を取って頂いています。夜間は、ご利用者様の意思にて就寝して頂いており、眠れないご利用者様に対しては、温かい飲み物の提供・職員と会話等を行い、気持ちよく眠れる様支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに薬の説明書の保管をし、内容を把握しています。新薬・減薬等があった場合は、申し送りをし、その都度職員間で情報共有等を行っています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりのご利用者様の状態に合わせて、出来る事を行って頂いています。季節ごとの行事を行い、楽しんで頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用者様の希望を聞きながら、ご家族様の協力を得て外食して頂いたり、施設で買い物時に一緒に行って頂いています。	のどかな環境に恵まれており、天気の良い日などは近隣の散歩をしています。また、スーパーへの買い物や、季節に合わせてお花見やぶどう狩りにも出かけています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自身の財布を所持しているご利用者様もあり、買い物の際は、ご自身で支払いができるよう支援しています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があった際は、電話ができるよう支援しています。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳みスペースや長椅子を設けたり、冬季にはコタツを設置し、共用スペースでも、ご利用者様がその時のペースに合わせて過ごせるよう支援しています。	ご利用者の写真や作品が飾られ、生活感や季節感の感じられる居心地のよい共有空間となっています。浴室やトイレの表示もご利用者が分かりやすいように工夫しています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間には季節ごとの壁画や行事の写真等を飾り、季節感を感じられるよう支援しています。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用されていた物を持参して頂いたり、ご利用者様が居心地良く過ごせるよう支援しています。	それぞれの居室は掃除がいきとどいており、清潔に保たれています。また、洗面台も各居室にあり洗顔や歯磨きなど各自の居室で行うことができます。使い慣れた家具の持ち込みもすすめており、居室の飾りつけなどご利用者の好みに合わせることが可能です。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり、ネームプレート等を設置しており、自立した生活を安全に送れるよう支援しています。		